

# 胃癌における LOX-1 (The lectin-like oxidized-LDL receptor) 発現の 意義に関する研究

## 1. 研究の対象

2016 年 1 月～2019 年 12 月に当院で胃癌の手術を受けられた方

## 2. 研究の概要

LOX-1 (The lectin-like oxidized-LDL receptor) は、血管内皮細胞における酸化 LDL の受容体として発見され、動脈硬化や心筋梗塞等の循環器疾患の発症に関与するとの報告がなされてきました<sup>1)</sup>。近年、複数の癌種において、LOX-1 (The lectin-like oxidized-LDL receptor) の発現が予後不良と関連していることが報告されていますが、そのメカニズムは明らかになっておりません。当院で胃癌の手術を受けられた方を対象に腫瘍組織の免疫組織化学染色を行い、LOX-1 の発現と採血検査結果や臨床背景、予後を比較検討します。実際に LOX-1 の発現が予後の悪化と関連しているか、また、LOX-1 の発現と関連する血液検査所見や臨床病理学的背景があるかを検討します。

研究期間：総長の研究実施許可日～2026 年 3 月 31 日

研究目的：胃癌における LOX-1 発現が予後に与える影響を検討します。

研究方法：研究対象者の方の腫瘍組織に対して免疫組織染色を実施し、LOX-1 発現と背景因子、治療方法、予後などを評価します。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号、採血検査結果、手術日、術式、最終受診日、再発の有無、死亡の有無等

試料：腫瘍組織(ホルマリン固定パラフィン包埋切片)

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 婦人科 馬淵 誠士

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上